

設置手順 と 基本操作



1 高圧ホースのピンをアダプターの穴にはめ、CO₂ポンベに高圧ホースを接続します。



2 CO₂ポンベのバルブを反時計方向に開きます。



3 ガスチューブの本体口金をUCRの送ガスコネクタへ時計方向に回して接続します。



4 送水タンクをトローリーにセットし、ガスチューブを送水タンク的气体口へ時計方向に回して接続します。



5 光源装置の送気ボタンをOFFにします。



6 UCRの電源を入れます。送気/停止スイッチを押し、送ガスをします。



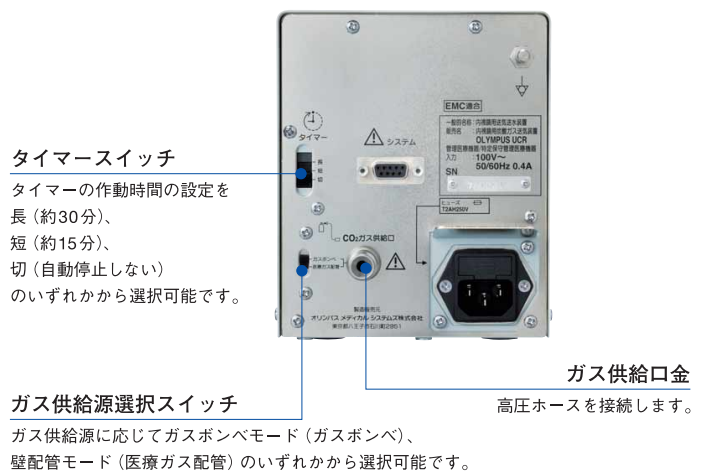
7 使用后、CO₂ポンベのバルブを時計方向に閉じ、ガスチューブを取り外してから、本製品内に残ったCO₂を抜いて下さい。その後電源を切ります。

各部の名称とはたらき

本体 | フロントパネル



本体 | 背面



付属品、オプション製品のご紹介

標準付属品

高圧ホース (MAJ-1080)



ガステーブ (MAJ-1741)



送水タンク (MAJ-902)



オプション製品 (別売り)

ガステーブ

低流量ガステーブ (MAJ-1742)



超低流量ガステーブ (MAJ-1816)



送ガス・送水ボタン (MAJ-521)



検査中に送ガス・送水ボタンを指から離れた時、小穴から炭酸ガスが漏れません。

経皮PCO₂/SpO₂モニタリングシステム

IMI株式会社製 TOSCA500



患者様の酸素化と換気能を単一の耳センサーで同時に連続測定できます。

CO₂ボンベホルダー (MAJ-1614)

WM-NP1/WP1 対応



CO₂ボンベ



送ガス・送水ボタン使用時における
メンテナンス上の注意点

洗浄実施後、検査前に逆止弁及びパッキン部分に薄く潤滑用シリコン (MB-146、別売り) を塗布してください。



この部分にシリコンオイルを塗布してください